

介護支援専門員実務研修 10日目

ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術

第7-②章

アセスメント及びニーズの把握

本科目の目的

P. 383

利用者及びその家族並びに多職種からの情報収集とその分析を通じて、介護支援専門員としての専門的な判断の根拠を説明できる技術を修得する。また、アセスメントにおいて収集した情報から、専門職としてニーズを導くための技術を修得する。

本科目の修得目標

P. 385

- ①アセスメントの意義と目的について説明できる。
- ②アセスメントにおける情報収集の項目や目的を説明できる。
- ③アセスメントからニーズを導き出す思考過程を説明できる。
- ④利用者・家族の意向の確認を実施できる。
- ⑤状態の維持・改善・悪化の可能性を予測できる。
- ⑥利用者、家族から得た情報に基づく課題の抽出を実施できる。
- ⑦利用者、家族の持っている力を把握できる。
- ⑧多職種による情報を関連づけたアセスメントを実施できる。
- ⑨利用者、家族のニーズの優先順位を判断できる。

第1節 アセスメントの意義と目的

P. 386

1. 運営基準上の規定

(1) アセスメントの意義

利用者にどのような支援を提供すれば良いのかを導き出す

(2) アセスメントの目的

ニーズ把握をしていく

アセスメントに関する運営基準

六 介護支援専門員は、居宅サービス計画の作成に当たっては、適切な方法により、利用者について、その有する能力、既に提供を受けている指定居宅サービス等のその置かれている環境等の評価を通じて利用者が現に抱える問題点を明らかにし、利用者が自立した日常生活を営むことができるように支援する上で解決すべき課題を把握しなければならない。

*運営に関する基準 第13条
(指定居宅介護支援の具体的取扱方針)

アセスメントの定義(p.93-94)

⑥「課題分析とは、利用者の有する日常生活の能力や利用者が既に提供を受けている指定居宅サービスや介護者の状況等の利用者を取りまく環境等の評価を通じて利用者が生活の質を維持・向上させていく上で生じている問題点を明らかにし、**利用者が自立した日常生活を営むことができるように支援する上で解決すべき課題を把握すること**であり、利用者の生活全般についてその状態を十分把握する事が重要である。」

(運営基準 第13条6号)

第1節 アセスメントの意義と目的

2. 協働作業としてのアセスメント

ケアマネと利用者・
家族と多職種の協働
作業

(1) 協働作業であるという認識をもつ

利用者が現状を理解し決定する

利用者の同意
を得ながら

(2) アセスメントの全体像

情報収集→問題を分析統合→生活ニーズ→
目標

利用者に何が起きているのか？
その背景は何か？

(3) アセスメントの視点

- ・全体像の理解
- ・自立支援と尊厳の保持

利用者が主体となって望む暮らしを実現するための方法自ら選び積極的に生きていく事

第2節 アセスメントにおける情報収集 の項目や目的

P. 391

1. アセスメントのために収集する情報

(1) 情報収集の目的

(2) 課題分析標準項目の規定

P306参照

基本情報に関する項目 9項目

課題分析(アセスメント)に関する項目 14項目

介護支援専門員の主観的な考え方で行われる事を防ぐ

課題分析標準項目(p.306+)

●基本情報に関する項目

- | | | |
|-------------|--------|-------------|
| 1.基本情報 | 2.生活状況 | 3.被保険者情報 |
| 4.利用サービスの状況 | | 5.6 日常生活自立度 |
| 7.主訴 | 8.認定情報 | 9.課題分析理由 |

●課題分析に関する項目

- | | | | |
|----------------|---------|---------|------------|
| 10.健康状態 | 11.ADL | 12.IADL | 13.認知 |
| 14.コミュニケーション能力 | | | 15.社会との関わり |
| 16.排尿、排便 | 17.褥瘡 | | 18.口腔衛生 |
| 19.食事摂取 | 20.行動障害 | | 21.介護力 |
| | 22.居住環境 | | 23.特別な状況 |

アセスメントの手順

1.現在の状況を把握する <情報収集>

①事前情報を整理

②客観的情報(事実) ⇒「課題分析標準項目」

各種アセスメント様式活用、基本情報の把握

③主観的情報(事実) ⇒「面接場面」を通して

直接把握する情報

④奥行き情報 ⇒課題となる情報について、

開始時期、状況について情報を深める

◆情報を意図的に重ね合わせていく

アセスメントの手順

2.利用者を理解する

①得られた情報から理解する

(生活歴・家族歴・職歴・価値観等)

⇒「Aさんという人の理解」

・・・生活史・ジエノグラムの活用

- ・情報から何がわかるか、何がみえてくるかを整理する
- ・個々の事実ではなく、その事実の意味づけを考える
- ・過去をつなぎ、どのように現在を作り上げてきた人

なのかを深め 「共感的に理解する」

アセスメントの手順

3.問題を整理、分析・統合する

①問題を整理する ⇒「起きている問題の理解」

②情報を分析・統合

◆利用者本人の状態と環境である背景を意識

・原因は何か、何が影響しているのか

◆課題分析(アセスメント)項目の奥行き情報を把握

・いつからどのように始まったのか

◆疾患との関連、ADLとの関連、家族関係(介護力)等

との関連を捉えながら分析を繰り返す

◆支援が必要な状況を明らかにするだけでなく、

利用者や家族の持つ力の強さ、可能性にも着目

アセスメントを深める⇒統合

- ◆ 疾病に関する医療情報、専門的意見
- ◆ 現在の病状と疾病の性質、予後
- ◆ 生活全体に視点を広げる

◆ 利用者理解

ツールとして

生活史

◆ 家族背景と関係性
ム

ジェノグラ

◆ 利用者を取りまく背景の理解
等

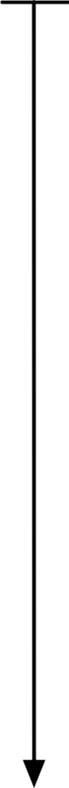
エコマップ

Aさんの全体像を理解する(演習)

- 1.ステップⅠ(個人ワーク)
- 2.ステップⅡ
- 3.ステップⅢ
- 4.ステップⅣ
- 5.ステップⅣ

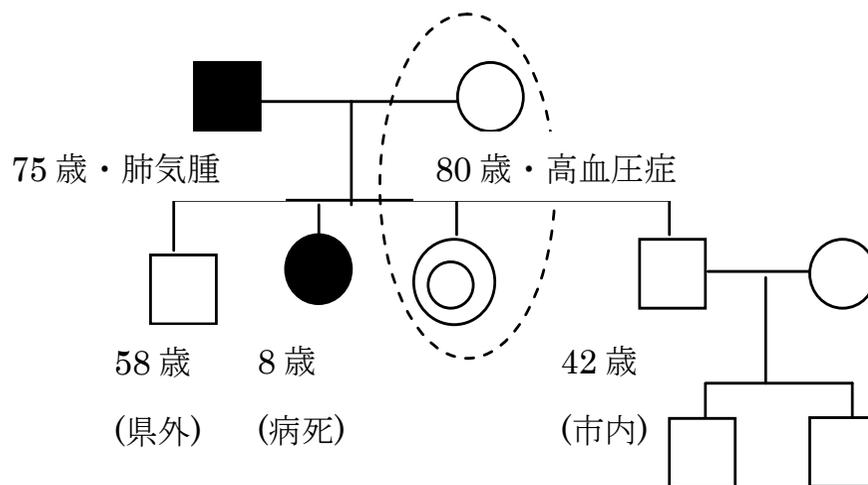
生活史

《生活史》

- 
- ・主な既往歴・職歴・生育歴・結婚・出生など家族状況の移りかわり、
転居の歴史など主なエピソードを書き込む
 - ・生活歴・職歴・家族の歴史を重ねる
 - ・どのような家族の中で生まれ育ち・どのような家庭を作り、どこに住み、どのような仕事をして、どのような人たちと関わりを持ち……、そして今
 - ・施設・GHなどに入所される以前の暮らし……
 - ・どのように生きて、これから先どのように生きていきたいと思っているのか
 - ・その人の生き方・考え方・対処の仕方・価値観を知る
- ～そこから、何がみえてくるか～

家族構成図・ジェノグラム

《ジェノグラム》 家族構成図²⁾



- ・左から第1子、第2子・・・と順に書く
- ・本人は◎や二重の□で表す
- ・本人を中心に同居家族、別居家族を書き込む
- ・両親・兄弟姉妹など三世代を目安に
- ・年齢、疾患治療名、居住地等必要な情報を書き込むとよい《余白をうまく活用》
- ・別居の場合、距離と訪問頻度、交流の様子なども書き込むとよい
- ・生活歴と重ね合わせながら、描く
- ・ジェノグラムに、線の太さ、破線、葛藤線などを用いて関係線をいれるとファミリーマップになる

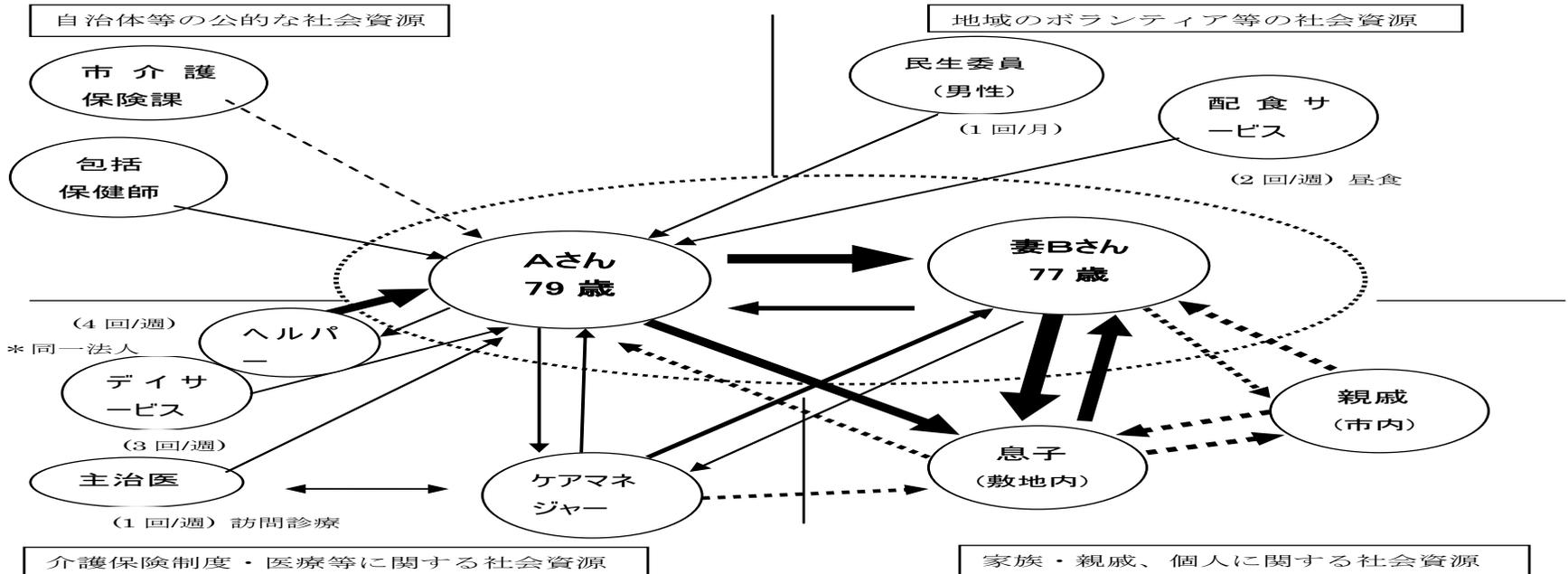
エコマップ

《エコマップ》 社会資源関係図²⁾

利用者とその家族の関係や、その他の社会資源との情報を円や関係線で表現する方法。図式化することで、援助者・関係者(機関)・利用者自身が問題が起きている状況を把握し、今後の援助に必要な社会資源を検討することができる。

- ・社会資源をマップ的に描く
- ・それぞれの関係性の線を入れる(線の太さ、線の種類;直線・破線など)
- ・利用者との位置や距離で関係性を表す
- ・現在の支援の様子や社会資源同士との関係性を把握するために用いる方法と、今後地域で活用が期待できる社会資源をみつけるためにエコマップを用いる方法がある ⇒ **目的によって使い分ける**
- ・一般的には、Aさん本人を中心にして、その周囲を資源(家族含む)が取り囲むように描く
- ・下記の例示のように、社会資源を分類して種類別に描くこともできる
- ・エコマップの中心に、ジエノグラムを取り込む方法もある
(家族システム全体にどこがどのように関わっているかが明確になる)

《社会資源を分類して表したエコマップの例》



Aさんの全体像の理解

【ステップⅠ】

Aさんはこのように生活をしてきた人
“Aさんはどのような人”過去・現在まで

生活歴・職歴・趣味・過去のエピソードからその人の
今を見ていく

【ステップⅡ】

Aさんと家族の現在の状況は？

“Aさんはどのような状態でどのように生活をしているのか”(生活の全体像)

ステップⅡ 身体的側面

《身体の状況》《日常生活の様子》

健康状態・医療・治療の状況

健康状態は？

治療状況は？

今の病状は安定している？不安定？

内服している薬は？

身体の状況

日常生活の様子

ステップⅡ 心理・精神的側面

《精神的状況・コミュニケーション》

なくしたものの大きさは？

どのように乗り越えようとしているの？

乗り越えられずにいるのか？

コミュニケーション能力は？

認知機能は？

ステップⅡ 社会的側面

《社会活動・社会交流の状況》 《住環境・とりまく地域の様子など》 《家族の介護力》

住環境

近隣との関係は？

社会交流の状況は？

家族の介護力は？

◆Aさんの状況

Aさんは今

という状況です。そのために、今

という思い【気持ち】います

◆家族の状況

家族は今

という状況(状態)ですそのために今

という思い(気持ち)で居ます

その他別居家族の状況

【ステップⅢ】

そんなAさんが望んでいるこれからの生活は？

【ステップⅣ】

そのためにAさんと家族に今必要なことはなん
だろう

アセスメントの総括(全体像のまとめ)

課題分析(アセスメント)の仕上げとして、Aさんはどういう人なのか(利用者の理解)、今、Aさんはどのような状況にあるのか(起きている問題の理解)、その背景には何があるのかを過去から現在までの核となる情報をつなぎ合わせ、その全体像を描き文章化(言語化)していく。

全体像を描いてください

- ①Aさんはどのような方ですか
- ②Aさんとご家族に今起きていることは何ですか
- ③Aさんとご家族は、その状況をどのように捉え、
どのように対処されていますか
- ④Aさんとご家族はどのように生活をされていますか
- ⑤Aさんの今の状況とそれに対するAさんの思い、
ご家族の状況と今の思いをどのようにケアマネジャー
として理解していますか
- ⑥課題・ニーズは……

Aさんの全体像をメンバーに紹介してください

- ①Aさんはどのような方ですか
- ②Aさんにご家族に今起きていることは何ですか
- ③Aさんにご家族は、その状況をどのように捉え、どのように対処されていますか
- ④Aさんにご家族はどのように生活をされていますか
- ⑤Aさんの今の状況とそれに対するAさんの思い、ご家族の状況と今の思いをどのようにケアマネジャーとして理解をしていますか
- ⑥課題・ニーズは……

Aさんの強さとご家族の強さも含めて紹介してください。

Aさんの全体像をまとめたの気づき

- 整理をして改めて気が付いたこと

生活歴からの気づき

身体・心理・社会的側面をまとめたの気づき

家族構成員夫々の状況への気づき

- 見落としていたこと

- 意識したいアセスメントの視点